

他のドメインに代わって送信される電子メールにDKIMで署名する方法

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)およびクラウドEメールセキュリティ(CES)上でDomainKeys Identified Mail(DKIM)を使用して他のドメインの代わりに送信される電子メールに署名する方法について説明します。

背景説明

[RFC2822](#)より

「発信元フィールドは、メッセージの発信元のメールボックスを示します。[差出人:]フィールドには、メッセージの作成者、つまりメッセージの書き込みを担当する個人またはシステムのメールボックスを指定します。[Sender:]フィールドは、メッセージの実際の送信を担当するエージェントのメールボックスを指定します。たとえば、秘書が別の人にメッセージを送信すると、秘書のメールボックスが[送信者:]フィールドに表示され、実際の作成者のメールボックスが[送信者:]フィールドに表示されます。メッセージの発信元を1つのメールボックスで指定でき、作成者と送信者が同じ場合、[Sender:]フィールドは使用しないでください。それ以外の場合は、両方のフィールドが表示されます。

エンドユーザーガイド14.0より

「メッセージの送信（発信）に使用されるリスナーでメッセージが受信されると、電子メールゲートウェイはドメインプロファイルが存在するかどうかを確認します。電子メールゲートウェイにドメインプロファイルが作成され（メールフローポリシー用に実装されている）、有効な送信者を探してメッセージがスキャンされます。または送信元：アドレスに解決するように要求します。両方が存在する場合、Sender:ヘッダーは常にドメインキーとDKIM署名に使用されますが、From:ヘッダーは、DKIM署名に使用されていなくても必要です。[Sender:ヘッダーが存在し、DomainKeysプロファイルまたはDKIM署名プロファイルが一致しません。送信元：ヘッダーは、次の場合にのみ使用されます。

- 送信者がありません：ヘッダーが含まれています。
- Webインターフェイスの[DKIMグローバル設定(DKIM Global Setting)]ページで、[DKIM署名に

ヘッダーを使用(Use From Header for DKIM Signing)]オプションを選択します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

1. [DKIM署名の設定](#)
2. [Mail Policies] > [Signing Profiles] > [DKIM Global Settings] > [Use From Header for DKIM Signing]に移動します。オフ

注：Use From Header for DKIM SigningがOnに設定されている場合、ESAは常にFrom headerフィールドを参照し、他のドメインに代わって送信されるメッセージはDKIM署名されません。

確認

1. SMTPカンバセーションの開始

```
ESA-C690-K9.MX> telnet 15.0.0.59 25
Trying 15.0.0.59...
Connected to 15.0.0.59.
Escape character is '^]'.
220 mail.mxesa.com ESMT
hello
250 mail.mxesa.com
MAIL FROM: amacorra@mxesa.com
250 sender <amacorra@mxesa.com> ok
RCPT TO: amacorra@cloudesa.com
250 recipient <amacorra@cloudesa.com> ok
data
354 go ahead
From: amacorra@cloudesa.com
To: amacorra@cloudesa.com
Sender: amacorra@mxesa.com
Subject: Adding Sender Header Manually

Adding Sender Header Manually.
.
250 ok: Message 640880 accepted
```

2. ログの確認

DKIM:パス署名が確認されました(d= mxesa.com s=selector i=@ mxesa.com)

3. ヘッダーの確認

dkim=pass (署名検証済み) header.i=@mxesa.com

受信トレイに、次の行が記載された電子メールが届きます。

amacorra@mxesa.com <amacorra@ mxesa.com>;代理でamacorra@cloudesa.com
<amacorra@cloudesa.com>

関連情報

- [RFC2822](#)
- [エンドユーザガイド14.0](#)
- [DKIM署名の設定](#)